

特許出願中

Wストッパー工法

現場から生まれたセパレーター漏水補修工法



PINGROUT KYOGIKAI

W ストッパー工法の概要

ビル建築工事、土木工事の地下部分における型枠用セパレーターからの漏水を確実に補修するためにWストッパー工法は考案されました。

セパレーターの穴と先端のボルト部を利用して機械的にパッキンを固定して親水性ウレタン樹脂(NLペースト)を注入することで漏水の原因となる微細なスキ間、を塞ぎ止水するもので、従来の研りや孔あけ及び急結モルタルを必要とする工法に比較して熟練を要さないシンプルでクリーンな工法です。



地下壁面セパ廻り漏水状況

W ストッパー工法の特長

◆ 止水効果

研り、穴あけによる“スキ間の潰れ”がないことと、一定量の樹脂が注入できることにより高い確率で水が止まります。

◆ 施工性

特殊な工具を必要とせず作業手順も簡単明瞭で誰でも施工が可能です。またコードレスインパクトレンチを使用すれば電源の確保やコードの取り回しの煩雑さはありません。

◆ 経済性

従来工法と比較して作業の省力化ができるのでコスト面で有利です。

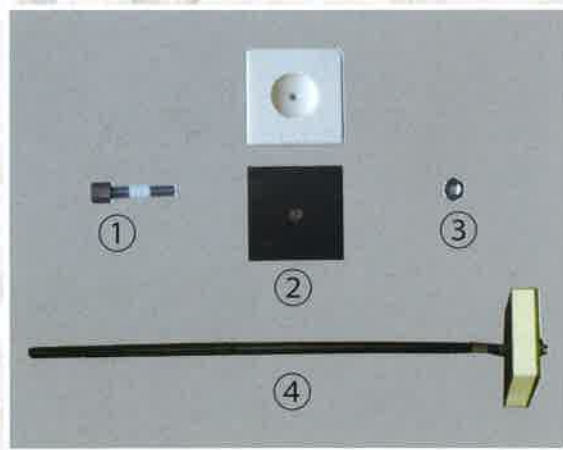
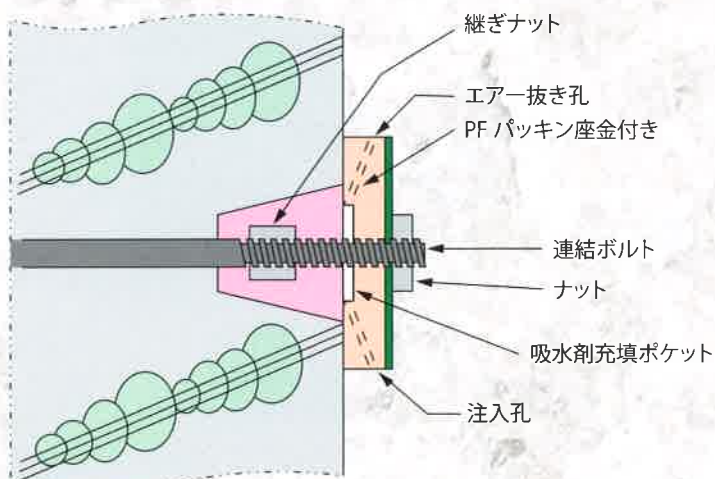
◆ 工期

スピーディーな施工で、後行程(仕上げ工事など)に与える影響を短期間に押さえることが可能です。

◆ 環境

騒音やほこりの発生及び施行後の流出樹脂、モルタル屑の発生がほとんどなくクリーンな工法です。

W ストッパー工法の構造



① 連結ボルトナットセット	③ ナット(締め付け用)
② PFパッキン座金セット	④ 1~3を組み合わせたもの

荷姿 1 セット100ヶ入り

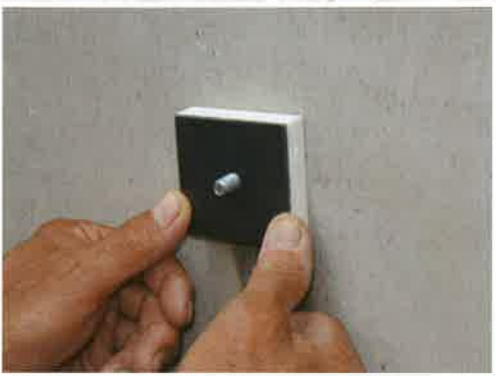
施工手順



① 連結ボルトナットセットをねじこむ



⑤ 止水を確認してナットを外す



② PFパッキン付座金をセットする
(注入孔は下側に向ける)



⑥ PFパッキンを撤去する



③ ナットを締めてPFパッキン付座金を固定し
NLペーストを10~14g注入



⑦ 注入されたNLペーストが硬化した状態



④ PFパッキンが圧縮されて5mm程度に
なるまでナットを締め付ける



⑧ 適切な充填剤で仕上げる

使用材料

◆ 止水注入剤

注入用樹脂はピングラウト工法で用いる『NLペースト』を使用します。
NLペーストは親水性一液型ポリウレタン樹脂で、水と化学反応し膨張します。
この膨張に伴う圧力で微細なスキ間に樹脂が注入され水密性を回復させます。

- ◇水とゆっくり反応し時間をかけてスキ間の奥まで浸透します。
- ◇湿潤状態のコンクリート面と接着性に優れています。
- ◇耐酸性・耐アルカリ性・耐塩水性も有しています。



〈NLペースト 発泡膨張の例〉

◆ 吸水性

NLペーストの化学反応に必要な水分量を確認するため吸水剤アクアキープ10SH-PF(住友精化製)を使用します。
水と混合しゲル化させたものをPFパッキンの内側に設けた円形の凹部(ポケット)にセパレータにセットする前に充填しておきます。



ピングラウト協議会

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番3号
日本橋ニシキビル6F
TEL.03-3663-9215 FAX.03-3663-8964

ピングラウト協議会・会員

製造元 **中国富士化工建設株式会社**

〒732-0042 広島県広島市東区矢賀1-5-52
TEL.082-284-3117 FAX.082-283-9649

販売元 **株式会社テクネット**

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町8-8 中島ビル7F
TEL.03-5643-8500 FAX.03-5643-8501